



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
 アジア会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
 西日本区理事主題 「ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！」
 中部部長主題 「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」
 クラブ会長主題 「明日へ、ワイズライフを楽しもう！」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2017年2月号

— < 今月の聖句 > —

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」
 コリントの信徒への手紙 第4章18節

名古屋グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2017年2月例会他ご案内

◎第一例会

と き：2月14日（火）
 時 間：19:00～
 ところ：南山YMCA

- 「グランパス次年度体制について」
次年度のクラブ体制について次期会長より提案がありますのでご審議願います。
- 「名古屋 YMCA 次年度計画（案）について」
名古屋 YMCA 次年度計画（案）について概要説明を受け、クラブとしての係わりについて話し合います。
- その他プログラム参加報告等

◎第二例会

と き：2月28日（火）
 時 間：19:00～
 ところ：南山YMCA

◎東西日本区交流会

と き：2月4日（土）5日（日）
 時 間：交流会開始14:00～
 ところ：日本YMCA同盟国際青少年センター
 東山荘

◎ピンクシャツデー会

と き：2月22日（水）
 時 間：別 途
 ところ：名古屋 YMCA

◎第5回チャリティーウォーク

と き：3月11日（土）
 時 間：10:00～
 ところ：地下鉄東別院駅 集合

◎3月第一例会

と き：3月14日（火）
 時 間：19:00～
 ところ：南山YMCA

1 月 例 会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド（月）	
	在 席 者	14名	第 1 例 会	11名	当 月・切 手		ニコBOX ノート	
	例会出席者	11名	第 2 例 会	8名	当 月・現 金		感 謝 ファンド	
当月出席率	78.6%	そ の 他	2名	累 計		累 計		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う=

第一例会（新年会）レポート



日時：2017年1月13日(金) 18:00～

場所：たなか（中区西大須）

出席：阿部、荒川、遠藤、坂口、信田、高田、坂野、松原、三井、吉田

ネット：高田、服部、松原、吉田

ゲスト：柴田、坂倉、常川

荒川恭次

年末の忘年会に続き年を越しての新年会が、多数のメネット・ゲストの参加を得て西大須の「たなか」で開催されました。寒い時期ですが持ち寄った酒と熱い鍋料理で身体を温めワイワイと語り合いました。

今年はどんな年になるのやら、また一つ歳を重ね、深みの増した年代に入ったメンバー各位ですが、それぞれにやらねばならぬことが多々あります。しかしワイズ活動を通じて親睦を深め、出会いを大切にしてお人脈を広げて人生を大いに楽しもうではありませんか。この一年もよろしくお願い致します。



第二例会レポート

日時：2017年1月24日(火) 19:00～

場所：南山YMCA

出席：青木、荒川、遠藤、高田、早川、下村、吉田
議事

- 2月第一例会（ドライバー荒川君）
日時：2月14日(火) 午後7時～
場所：南山YMCA 食事あり（参加者はドライバーへ連絡）
議題 YMCA 新年度計画（ボランティアセンター長 牧さん）
今年度3月迄のYMCA 行事等
- 3月20日リーダー感謝祭
食事グランパス担当：メニュー・食材調達・調理等
各クラブへの参加協力をお願い（各クラブの費用分担の検討）
参加費用 リーダー0B ¥1,000
Y,s・職員 ¥3,000
リーダー 無料
総参加人数 約80名
（前回は予算内で終わる）
- 2月22日(水)
ピンクシャツデー（協議中）
YMCA より
- 3月11日 チャリティーウォーク
杉原千畝（人道の道）中区 平和小学校～瑞稜高校
参加費 ¥1,000（東北支援金に役立てます）
時間等は 決まり次第連絡します。
午後から3月11日の東日本大震災の追悼行事が栄広場にて行われます。追悼時間等は吉田君が御知らせします
- 3月第一例会（ドライバー高田君）
卓話 岡崎 勝さん（プロフィールはネットで御願ひします）
日時：3月14日(火) 午後7時から
場所：南山YMCA
食事有り（南山クラブにもお知らせをしています）
*高田君から卓話の岡崎さんの略歴と卓話内容のお知らせを依頼する。
- 東北支援ツアー（ドライバー阿部君）
日時：4月7日～9日（参加者申し込み受付中）
現在申し込み 阿部君・阿部メネット・荒川君・高田君・高田メネット、吉田君・吉田メネット・三井君・早川
- 2017年 中田商店街夏祭りの参加を 青木君・中村総主事に申し込みの依頼を商店街にお願いする。
日時：7月29日(土)～30日(日)ではないか(未定)

グランパススキープログラム



日時：2017年1月21日(土)～22日(日)

場所：爺ヶ岳スキー場

宿泊：マルハン爺ヶ岳ロッジ

出席：荒川+メネ、吉田+メネ、藤田ファミリー、
堀田ファミリー、小山ファミリー、東田、万福寺

シニアスキー教室を企画・参加して

荒川恭次

昨年のスキープログラムは雪不足でスキーが出来ませんでした。今シーズンもつい2週間前までは真っ黒なゲレンデでしたが、本番前の1週間で写真のように完璧なコンディションになりました。1週間日程を遅らせたのは正解でした。しかしインフエザの猛威により参加できなかったレギュラーメンバーも居て、例年になくこじんまりとした陣容でしたが、食後のフェローシップタイムでは大いに盛り上がり、多量のアルコールが消費されました。



この他にビールと日本酒もたくさん頂きました

さて、今回のツアーの目玉は「シニアスキー教室」です。若い頃鳴らした技はいつしか錆びつき、体力の衰えとともにスキーが遠ざかってしまったシニアは多数お見えになります。そこで最新の技とテクニックを現役指導員より授けようとの意図から、名古屋YMCAのスキー指導員である万福寺さんをお願いして、シニアを対象にしたスキー教室を開催しました。生徒は紹介せずともお判りと思いますが、結果として目から鱗のテクニックを得ることができ、これまでの滑りは何だったのかと思うほど疲れなくなりました。40年前白馬八方のSAJ1級資格を

取り、滑りには絶対の自信を持っていましたが、カービングスキー全盛の今も昔の力技の技術で滑っていました。

しかし、今まで考えも及ばなかったエッジングを意識しないという最新のカービングスキー理論に適した滑り技を教えていただき、同じスピード・回転弧で滑るのに脚力がいらぬ、スキーの性能に頼り切った体力的に非常に楽な方法を覚えることができました。体力の衰えたシニアには嬉しい技でした。

昨秋に新調したスキー板の効果もあってか、これまで第3リフト頂上から一気に滑り降りると、途中で太ももの筋肉がピリピリして途中休憩せざるを得なかったのが、休憩無しで下まで楽に滑れるようになりました。正に目から鱗でした。

冬は家のコタツに籠ってしまった往年のシニアスキーヤーを、また白銀の世界に連れ戻すために、来シーズンもシニアスキー教室を開催してみようと思います。まだまだ出来るJiさんBaさん達のために。そしてYMCAスキーキャンプにリーダーで参加してください。



今回の参加者



雪は十分にありました



ロッジの奥さん自作のかわいい鳥たち

私とわたしの災害支援



阿部一雄

平成17年1月14日(土)午後2時から京都YMCAで開催された「私とわたしの災害支援」講演に行ってきました。

私は平成14年4月のオートバイレース中の事故により、車いす生活となって以来、障がい者として、建築士として「心のバリアフリー」と称した仕事や活動を行ってきました。

今回の講演では障がいを持つ者が被災した際に感じる不安や課題について話をさせて頂く機会を得ました。私自身東日本大震災や熊本地震の視察を通じ、一般的な被災者の様子や考えを理解していたものの、実際に被災された障がい者らの経験談について知識を持ち合わせていませんでした。そこで、名古屋にある東日本大震災や熊本地震を支援した2団体の責任者の話を聞くことから情報収集を行いました。講演では下記の三つの話題を紹介し、最後に障がい者支援のポイントを伝え、講演を行ってきました。

- ① 症児者の防災ハンドブック
- ② 支援団体から見た災害時支援(特定非営利活動法人 ふれ愛名古屋)
- ③ 重症心身障がい児者の災害時支援(社会福祉法人 AJU 自立の家)

私にとって今回の講演は普段仕事や活動をしている中で、実際に被災された方々の経験や支援を考えた仕事や活動につながる良い機会となりました。こうした機会を与えていただいた方々に感謝です。



スキーキャンプサポーター



「昔の名前で出ています。」

荒川恭次

名古屋YMCAでは夏季の緑の大自然の中で行うキャンプと、冬季の真っ白な雪の中で行うスキーキャンプがあります。これまで夏季キャンプはオープニングワーク・クロージングキャンプ等で支援活動を行ってきましたが、冬季キャンプは毎回ロケーションが固定せずいろいろなスキー場で開催されてきたので支援の対象とはなっていませんでした。昨シーズンに名古屋YMCAより手伝って欲しいとの依頼があり参加したのがきっかけで、今シーズンは既に2回のキャンプに参加しました。

夏季キャンプとの大きな違いはワイズでの参加ではなくリーダーの立場で参加です。子どもたちの生活指導を行う生活班リーダーとスキー指導を行うスキー班リーダーがありますが、年齢と体力を考慮した記録班リーダーとしての参加です。スキー班リーダーは子どもたちのスキー指導で写真撮影時間はありません。フリーのスタッフはスキー班レベルから外れた子供の面倒とか具合の悪い子供の介抱とか忙しく、とても写真を撮る時間がありません。そこでスキー経験豊富で時間のある(暇な)老人に声がかかった次第かな。



これは一昨年に開催された全国リーダー研修会で、御岳日和田キャンプ場での3泊4日の支援サービスがきっかけとなり、YMCAスタッフ、リーダー達との距離が縮まった結果、気楽に声がかかったから

そ の 他

と自己解釈しています。そうは言っても、広大なゲレンデに常に動き回るスキー班を追いかけて写真撮影するのはスキー技術と体力が要求されます。ワイズの新しいYMCA支援の方法として、全一研から始まったYMCAプログラムの中に入っての支援は、今後他のクラブへも広がればと思います。スキー技術と体力と時間のあるワイズはぜひリーダー名で参加支援してください。因みに私のリーダー名は「ギックリ」です。由来は学生の頃のキャンプリーター名です。



楽しいナイトプログラム

YMCAたより

遠藤恵美子

2月22日（第4水曜日）は、いじめについて考える1日です。YMCAでは、2月20日（月）～25日（土）まで1週間をピンクシャツデーの週間とします。ピンクシャツデーのある1週間は、YMCAに来る子どもたちといじめについて考えます。今年は「みんなが仲良くなるために」どんなことが必要なのか、クラスで子どもたちやリーダーと考えていきます。この機会に考えたことやお友だちの意見をこれから自分の周りで実践できる人にもなってほしいと思います。ひとりひとりの違いが認められ受け入れられること、困っている人がいたときに立てあがれる人になれるよう、普段の活動から伝えていきたいです。

★募集します！！★

ピンクシャツデーの取り組みにご賛同いただける方は、2月22日（水）にぜひピンクのものをつけて、その写真を送ってください。一言コメントもいただくと嬉しいです。クラスの様子とともに、みなさんのお写真も名古屋YMCAのFacebookに投稿したいと考えています。よろしく願いいたします。

1. 今月の誕生日

happy birthday

三井 秀和（2日）

坂野 清治（10日）

congratulation!

2. 例会等出席状況

No.	氏名	1 / 13 第一例会	1 / 24 第二例会	1 / 21 22 爺ヶ岳	
1	青木 哲史		○		
2	阿部 一雄	○			
3	荒川 恭次	○	○	○	
4	坂口 功祐	○			
5	信田伊知郎	○			
6	下村 明子		○		
7	高田 士嗣	○	○		
8	服部 庄三				
9	早川 政人	○	○		
10	坂野 清治	○	○		
11	松原 誠	○			
12	三井 秀和	○			
13	吉田 一誠	○	○	○	
14	遠藤恵美子	○	○		
	計	11	8	2	



ゲレンデで元気いっぱいの子供たち
スキーキャンプより

